

研究課題名"すりガラス状結節に対する EBUS-GS 法を用いた気管支鏡下生検"に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年3月1日～2017年2月28日に当院ですりガラス状結節に対する EBUS-GS 法を用いた気管支鏡下生検を受けられた方

2. 研究目的・方法

末梢小型肺癌のうち、特に気管支鏡での診断が難しいとされるすりガラス状結節に対する EBUS-GS 法（超音波プローブとガイドシースを用いた生検）の診断能について検討します。電子カルテ・データベースを用いて後ろ向きに解析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：CT 画像所見、患者背景、気管支鏡検査結果、合併症など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡：

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 病院助教・岡地 祥太郎
〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 TEL：052-744-2167